

ダイビング用 空気充填 (AIR)

AIR

for Scuba Diving



呼吸用圧縮空気
(コンプレッサーエア)

ISO 23269-1 準拠

指針番号: 122

危険



注意



高圧ガス

危険有害性情報

- ・高圧ガス：熱すると爆発のおそれ。
- ・高圧下のガス：吸入すると有害のおそれ。

注意書き【安全対策】

- ・充填済みの容器は、直射日光や高温を避け、換気の良い場所に保管すること。
- ・オイルやグリース類を近づけないこと。火災・爆発の原因となるおそれ。
- ・容器/バルブをゆっくり開閉すること。
- ・改造や分解をしないこと。

【応急措置】

- ・吸入した場合：新鮮な空気の場合に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

- ・直射日光を避け、換気の良い場所で保管すること。
- ・転倒防止を確実にを行い、容器を固定して保管すること。

充填日 (記入欄)

20 年 月 日

容器番号・記入欄

販売店情報 (ご記入ください)

販売店名: _____
住所: 〒 _____
電話番号: _____
担当者: _____

製品名	ダイビング用 空気 (AIR)
組成	圧縮空気 (窒素 (N ₂)・酸素 (O ₂)・アルゴン (Ar) 他)
酸素濃度	20.9% (通常大気相当)
UN No.	UN1002 (圧縮空気)
国連分類	クラス 2.2 (非可燃性・非毒性ガス)
CAS No.	— (混合物のため該当なし)

安全データシート (SDS)

1. 物質/混合物および会社情報

製品名	ダイビング用 空気 (AIR)
用途	スキューバダイビング用呼吸ガス
供給元	AAA ダイブサービス
住所	東京都〇〇区〇〇1-2-3
電話番号	00-0000-0000

2. 組成および成分情報

成分名	化学式	濃度 (vol%)	CAS No.
窒素	N ₂	78.1	7727-37-9
酸素	O ₂	20.9	7782-44-7
アルゴン	Ar	0.9	7440-37-1
その他微量成分	—	0.1 以下	—

3. 危険有害性の要約

分類：支燃性ガス、高圧ガス
GHS分類：
・支燃性ガス：区分 1
・高圧ガス：液化ガス
GHSラベル要素：
注意喚起語：危険
危険有害性情報：
・支燃性ガス：火災助長のおそれ。
・高圧ガス：熱すると爆発のおそれ。

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気の場合に移動する。呼吸が停止している場合は人工呼吸を行い、医師の診断を受ける。
皮膚に接触した場合	特有の危険性はない。
眼に入った場合	清潔な水で数分間注意深く洗う。異物が続く場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	通常の使用条件では該当しない。誤飲した場合は医師に相談する。

5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に適した消火剤を使用する。
特有の危険有害性	可燃性ではないが、火災時に容器が加熱されると破裂するおそれがある。
特有の消火方法	容器を火元から遠ざけ、冷却用に散水する。消火後も十分に冷却する。

6. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	容器/バルブをゆっくり開閉する。油脂類や可燃物の近くで使用しない。容器を転倒/落下させない。
保管	直射日光や高温を避け、換気の良い場所で保管する。容器は立てて固定し、転倒防止を確実にを行う。

7. ばく露防止および保護措置

設備的対策	換気の良い場所で使用する。
許容濃度 (目安)	酸素：特別管理 23.5%以下 (高濃度酸素に注意)
保護具	通常必要ないが、転倒/倒閉の懸念の場合は保護手袋・保護眼鏡を使用する。

8. 物理的および化学的性質

外観	無色・無臭の気体	臨界温度	-140.8℃ (空気の平均)
臭い	無臭	蒸気圧	該当なし
沸点	-195.8℃ (空気の平均)	比重 (気体)	1.29 (空気=1)
可燃性	不燃性	溶解性	水にわずかに溶解

9. その他の情報

国連番号	UN1002
国連分類	クラス 2.2 (非可燃性・非毒性ガス)
品名 (国連輸送名)	圧縮空気
特別規定	—
輸送時の注意	容器を固定し、転倒・落下・衝撃を避ける。

10. 使用上の注意

- ・必ずダイビングのトレーニングを受けた方のみ使用してください。
- ・使用前に容器やバルブの状態を確認してください。
- ・純度を維持するため、オイル・グリースの付着を防いでください。